

「一枚ポートフォリオ」を活用した授業

学習活動・内容と主な働きかけ

1 前時の一枚ポートフォリオの内容を聞く。

○ 前時に書いた数人の文章を読み上げ、本時では、さらに深く読み取ることを知らせ、学習後の変容への期待感をもたせる。

2 作品を音読する。

○ 一度音読することで、前時の学習で作り上げた作品に対するイメージを想起させる。

3 学習課題を把握する。

「みんなちがって、みんないい。」とは、本当はどのような意味なのか。

○ 今までの読みでは、まだまだ甘く、浅く、不十分であり、実感を伴っていないことを説明し、学習への動機付けを図る。

4 作者が強調したかったことを確認する。

- ・ 飛べないもの
- ・ 速く走れないもの
- ・ 音がでないもの
- ・ うたを知らないもの

○ 互いの「できる」ものと「できない」ものとを多くの否定表現によって表し、それぞれがもつ欠点を掘り起こし強調していることに気付かせる。そうすることが、最後の2行の読解に生きてくる。

5 課題について自分の考えを書く。

(1) ノートに考えを書く。

(2) 発表する。

○ 想像や空想ではなく、この言葉があるから、こんなふうになるといったぐあいに、言葉に基づいて考えさせる。

○ 「みんな」を反復していることに着目させる。

6 個人の考えをもとに班で練り上げる。

(1) 班内で個人の考えを発表する。

(2) 班としての考えをまとめる。

○ 進行役を決めて話し合いを進めさせる。

○ 自分の考えと照らし合わせながら聞かせる。

7 全体で意見交換をする。

(1) 班の代表者が発表する。

(2) 意見交換をする。

○ 希望者がいなければ、進行役の生徒に発表させる。

○ 授業者がコーディネーターとなり、班の代表者の発表に対して意見を述べていく形で話し合いを進め、生徒が納得するまで練り上げていく。

○ 発表内容のキーワードを板書しておく。

8 再度自分の考えを「一枚ポートフォリオ」に書く。

○ なんとなくわかっていたことが、理屈を伴ってわかるようになった記述内容について発表させる。

9 前時の文章と本時の最後に書いた文章とを比較し、気付いたことをノートに書き込む。

- ・ 変わったこと
- ・ 深まったこと

○ 自分の考えの深まりを実感させ、学習に対する成就感・達成感をもたせる。

○ 深まったことが言葉として文章に出ており、変容が明らかな生徒に発表させる。